

光透波たより

令和 7年4月 165号

色の元素色は3つ、音の元素音は何音でしょうか？

読者の皆さん、「色の元素色」は何色だと思いでしょ
うか？学校で赤・青・黄の3原色であることを私たちは教
わっています。パソコンのプリンターを使っている人は、
この三原色の掛合わせによって、あらゆる色が生み出さ
れることを知っています。

では、「音の元素音」は何音であるかご存知でしょ
うか？少し耳に意識を集中すれば誰もが無数の様々な音
に気付くはずですが、そこに「元素音がある」？そんなこと
は誰もが考えたことはない筈です。

「元素音」に関しては古今東西を通じて誰一人として
関心を持つ人は現れず、そして究明しようとする人も居りませんでした。東洋の日本でも、そして物質科学を生
み出した西洋でも現れなかったのです。誰もが気付くことなく、また探求することがなかった「元素音」？・・・と
ころが、この謎を解明された凄い人が居たのです。

「相対性原理」があるならば「絶対性原理」がある

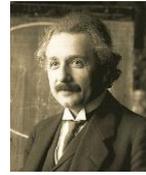
その方こそ光透波の祖・小田野早秧(さなえ)先生だったのです。音の元素音が「50音」であることを解明さ
れ、さらにその一音一音の意味と能(はたら)きを読み解かれたのです。

まさにノーベル賞を幾つも受賞されてもおかしくないほどの功績を上げられているのですが、惜しいことに現
代の科学はその意義を理解出来ず、小田野先生の業績は今日に至っても評価されずにいます。が、やがて人
類の叡智が高まるに従って、このことが正しく評価される時が訪れることは間違いないことでありましょう。

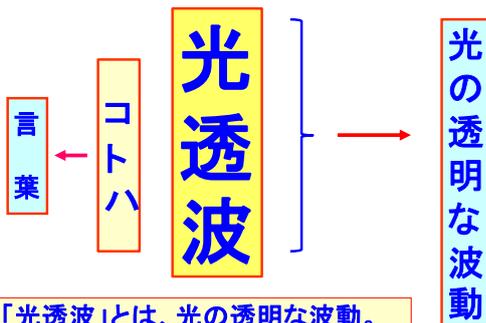
小田野先生が音の元素音が50音であることを解明されるきっかけになったのは、大正十一年の秋にアイン
シュタインが日本に来たことに始まります。ノーベル賞を受賞された直後にアインシュタインは訪日され、彼は各地
で講演され、我が国では「相対性原理」がフィーバーになったのです。その時、「相対性原理があるならば絶対
性原理があるはずだ」と直感された女学生がいたのです。若き日の小田野早秧女史です。



絶対性原理と相対性原理



ノーベル賞受賞直後にアインシュタインが来日
した時に「相対性原理」の話題が沸騰しました。
その時に「相対性原理があるなら絶対性原理が
ある筈だ」と考えた変わった女性がいました。
光透波の祖・小田野早秧先生です。



「光透波」とは、光の透明な波動。
それは「コトハ」→「言葉」の究極の
エネルギーと解せます。

「光」「透」「波」の文字が顔に飛び込んでくる

以来、彼女は「絶対性原理とは何ぞや？」と懸命に思索
するようになったのです。人間にとって至上のものは「生命」
ですから当初、絶対性原理は生命ではないかと思い、「生
命とは何ぞや？」と探求されていたのです。

普通、このような課題に直面すると、過去の人達が皆そ
うであったように、宗教や哲学の世界へ入ってゆきその枠
内で堂々巡りしてしまうのですが、小田野先生の凄いところ
は、これらの既成の宗教や哲学等に一切入り込むことなく、
ご自身が持って生まれた聡明さと、何事に対しても「何
故？」「何んで？」と、人一倍旺盛な探求心をもって独自で

絶対性原理を極めていったところにありました。

弛まない努力の末に透徹した境地に至った昭和28年5月、「光」・「透」・「波」の光の文字が天井の隅の壁か
ら彼女の顔に飛び込んでくるという不可解な霊的な体験をされたのです。その瞬間、小田野女史は「透」の字を
「秀」と「走」に分解して、秀でた走り＝トップスピード・・・絶対性原理の謎が「光透波＝コトハ」であることを悟
られたのでした。

小田野早秧先生と堀尾泉實により光透波理論は確立

その後も小田野先生は、コトバの奥に潜む真理の探究に励み、音の元素音が50音であり、さらにその一音一音の意味と能きを解明され、光透波のベースを打ち出されたのです。

そして、昭和49年3月から14年間にわたって小田野先生の教えを内弟子のようにして学んだ堀尾泉實氏と小田野女史が力を合わせて理論体系化し、命波学＝光透波理論は確立したのでした。

が、画期的で斬新かつ深遠な「光透波理論」は、言語学会や言語研究家達の物差しでは到底測り知ることができず、小田野先生に師事される光透波の研究者や信奉者によって引き継がれ今日に至っているのです。これは光透波が世に出る時が未だ来なかったからとも言えるのです。あたかも冬の間は固い蕾(つぼみ)であっても春を迎えれば一斉に満開になる桜の花のように、何事も時が来なければ開花、成就しないのが世の定めであるからです。

宇宙一切のものは波動によって生み出されている

さて、「元素音数が50音」であることを解明した小田野先生の業績が如何に凄いかということを理解していただくために、少々話を展開することにいたしましょう。

今迄、幾回となく本誌で掲載してきたように、宇宙一切は全て波動によって生み出されていることは現代科学の最先端・量子力学の世界でも認知され、今では人々の間で広く受け入れられていることです。

宇宙の実態が波動により生み出されている、このことに関し科学雑誌「Newton 2009. 1」に以下のように掲載してありますので紹介いたします。

「海岸に打ち寄せる波の他、自然界は『波動』が満ち溢れている。音波・光・携帯電話やテレビ、地上を揺らす地震波など、すべて波動だ。ミクロの世界の物理学である『量子論』によると、電子や原子なども、波動としての性質がある。電子や原子は、身の周りのすべての物質を構成する源なので、『自然界は波動に支配されている』と言っても過言ではないのだ」と……。

「ことば」や「文字」は波動に大きな影響力を持つ

この「波動の世界」で私たちにとって最も身近で且つなじみあるものが「音」ではないでしょうか？音は「1秒間に20ヘルツから2万ヘルツの周波数帯の空気の「振動」によって生じるものです。それ以上の振動数(周波数)帯になると「超音波」→「各種の電波」→「光」→「放射線」などと、性質の異なったものに変様しているのです。

あらゆる物質も光や音や、さらには私たちの心も命も、突き詰めれば総て波動によって生み出されているのです。この波動を象徴するものが「音」であり、さらに「音」がベースになって組み合わせられたのが「ことば」です。そして「こ

とば」を形に現わしたものが「文字」ということになります。

ですから「文字」を紐解くと、「字」は「ウ」と「子」の合成文字であり、「ウ」＝「宇宙」、「子」＝「ネ」＝「音」、即ち「字」は宇宙の「音」を現わしたものであることが、理解出来てくるのです。そして「字」を「アザ」と読み、「アザ」＝「天座」にあることが浮かび上がってくるのです。

故に文字→言葉→音→波動へと展開できるように、この宇宙の全てを生み出している波動と私たちが使う言葉や文字とは切っても切れない関係があるのです。分かりやすく表現いたしますと、人智を超えた叡智によって言葉や文字には宇宙を生成させている波動の哲理が秘められているということです。したがって光透波の字割理論をベースに文字を解読すると、そこに宇宙の真理、宇宙のご意図が如実に浮かび上がってくるのです。

音とは何でしょうか

音とは振動＝波動です

音 → 20Hz～2万Hz

電波 → 3千～3兆Hz

光 → 3兆Hz以上

放射線 → 3京Hz以上

周波数の違いで性質が変わるようになる。

光透波の字割思考法は宇宙の真理を読み解きます

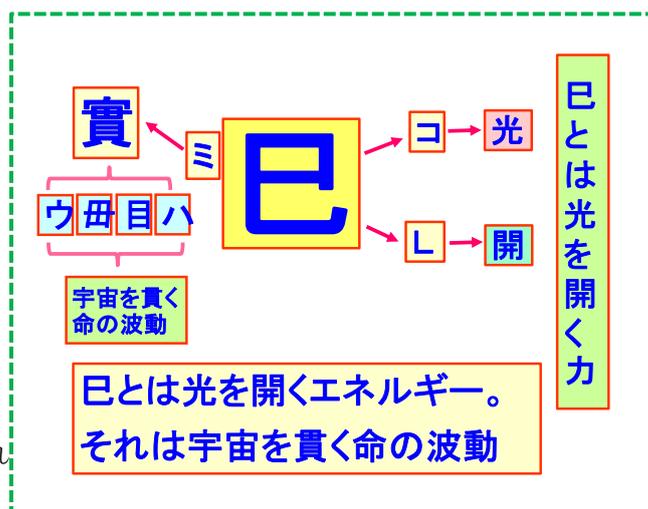
その一端を毎号の本誌で紹介しているのですが、この文字、言葉の奥に秘められた真理を読み解くことが出来る命波学(光透波理論)の字割思考法は、人智をこえた深い哲理であるとも言えるのです。相対性原理に対する「絶対性原理」がそこには脈打っているからです。表現を換えれば唯物的な思考法に埋没して、様々難題や危機と混迷に陥っている現代世界を救う道標がここに開かれていると言えるのです。

このように記しますと、物質科学的な見地に立っている現代人の考え方とあまりにも乖離していますので、殆どの人は戸惑い否定的な受け止め方に駆られてしまうのではないのでしょうか？

時代は物質中心から霊性主体へ大転換しています

しかし今日、世界人類は物・金・エゴ中心の迷妄から脱却する時を迎えているのです。「体主霊従から霊主体従の時代」へ、分かりやすく表現すれば物質中心から精神性・霊性主体の時代へと確実に転換する時を迎えているのです。このことは宇宙の摂理を読み解く光透波の字割によっても明らかになっているのです。「令和」の年号には「霊性に和す」意味が秘められています。

その「令和」7年の今年は何歳、「巳」は「コ」と「L」の合成文字。「コ」→「光」、「L」には「線を面」に開く意味がありますので、令和の「巳」歳の今年は何歳「霊性に和して光が開かれる」時であることを、宇宙は伝えているのです。



文字やことばの奥には人類を救う「絶対性原理」が脈打つ

この天のメッセージに気付かれて、一人でも多くの方が霊性に開花されることを願う次第です。「霊」とは「体」=物に対する見えない抽象の世界と言えましょう。現代流に表現すれば波動やエネルギーの世界であり、そこにこそ今日の人類世界の歪を正す道＝「絶対性原理」が脈打っているということです。

古くから「霊ノ本の国」と言われ「言霊の幸はう国」と言われてきた日本の言葉文化の土壌の中に生まれた文字の言霊学＝光透波を一緒に学んでみませんか？

ご関心のある方は本誌で案内しています各地の光透波セミナーへ。又はホームページを覗いてみてくださいますように・・・。

文責 宿谷

4 月 光透波セミナーのご案内

● 光の言波・真理教室 (第165回 光透波セミナー)

- 日 時 4月21日(月) PM 1:30～PM4:45
- 場 所 神明いきいきプラザ 集会室 B(4F) 東京都港区浜松町1-6-7
- 演 題 「字割の仕方、光の言波の実践法」 J R 浜松町(北口) 地下鉄大門(B1) 各4分
- 講 師 宿 谷 直 晃 ● 参加費 3,000円
(事前申込み支払者は 2,000円)

※ 講座の申し込み先 090-2447-2037 (宿谷まで)

● 名古屋 命波学講座

- 日 時 4月3日(木) PM 1:00～PM 4:00 基礎講座 第15回
- 日 時 4月7日(月) PM 1:00～PM 4:00 基礎講座 第16回
- 日 時 4月22日(火) AM 10:00～PM 1:00 基礎講座 第5回

- 日 時 4月28日(月) PM 2:00~PM 5:00 和やか会
- 日 時 4月29日(火) PM 1:00~PM 4:00 基礎講座 第15回
- 日 時 4月30日(水) PM 1:00~PM 4:00 基礎講座 第18回
- 場 所 實光透波スペース 名古屋市名東区香南1-103-8-201
- 講 師 堀尾君子 ●参加費 各3,000円

※ 命波学受講の日時調整可。お申し込み、問い合わせは堀尾へ 090-8499-5989

●命波音50音解読講座

- 日 時 4月7日(火) AM 10:00~PM 0:30
- 場 所 名古屋市昭和区八事 日赤病院近く「ペポ」
- 演 題 「小田野先生の使命と光透波のお話」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 3,500円

●熱田神宮参拝とお話し会

- 日 時 4月27日(日) AM 10:00~PM 0:00
- 場 所 熱田神宮 (集合は神宮会館前)
- 演 題 「神と人との繋がり・字割実践」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 3,000円

●光透波 Zoom 講座 「1 day 入門講座」

- 日 時 4月22日(日)
- ・AM 10:00~PM 0:00 ①「生命と死について」
- ・PM 1:00~PM 3:00 ②「認識と存在について」
- ・PM 3:30~PM 5:30 ③「文字と字割思考について」
- 講 師 磯部賢一 ●参加費 各講座 3,000円

●3カ月 個人レッスン講座 ●オンライン講座とオフライン講座とも可能

- 日 時 随時 予約制
- 本格的に学びたい人、3カ月の間に30回の受講可能です。
- あなたの都合の良い日を予約できます。本気で学びたい方を対象としています。

- 講 師 磯部賢一 ●参加費 98,000円

※ 以上 お申し込み、お問い合わせは磯部賢一へ isoiso837@gmail.com 090-9199-0248

※ 今月は林 和也先生の光透波セミナーの予告は休ませていただきます。

光透波の会

實光透波研究会	名古屋市名東区香南1-103-8-201	堀尾君子
メールアドレス	s8910kimiko@yahoo.co.jp	090-8499-5989
光透波塾	名古屋市熱田区旗屋2-16-4	磯部賢一
メールアドレス	isobekk50@yahoo.co.jp	090-9199-0248
光の言波, 真理教室	東京都品川区小山6-19-5	宿谷直晃
メールアドレス	syu98-8do8@mbr.nifty.com	090-2447-2037
光透波, 言霊セミナー	兵庫県播磨町西野添2-5-12	林和也
		090-8580-3776

光透波のホームページ <http://kotohawanokai.web.fc2.com>

「日本語の言霊パワーと光透波エネルギー」 宿谷直晃著 ヒカルランドから発行
全国の有名書店で発売中。アマゾン等のネットでも購入可

定価 3000円 + 消費税